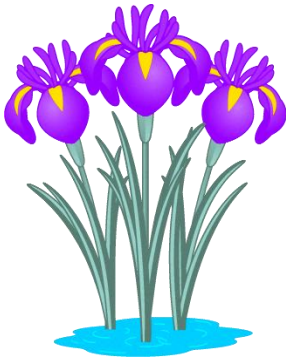




## 不易と流行～流行り廃れに惑わされることなく～



6年生の私がレスポンス・アナライザーに触れたのは今から40年以上前のことです。6年全員で、琵琶湖博覧会の跡地にあった初代大津市教育研究所・科学館に出かけた時でした。レスポンス・アナライザーとは多数の学習者の反応状況を即時に定量的に収集する教育機器のことです。後に、最新機器を導入し、教育を変えようとしたことを知りました。当時は教室にはカラーテレビ1台がありましたが、16mmや8mmフィルムの映写機を先生が操作して映画を見せてくださったり、当時流行り始めたカセットテープレコーダーで学級会の話合いを録音して聞かせてくださったり、音楽を聞かせてくださったりしたことを覚えています。

6年生のときに出合ったレスポンス・アナライザーは、その後すぐに姿を消しました。一方、ラジオはテレビ、ビデオ映像、ネット配信映像へと進化を遂げ、テープレコーダーはボイスレコーダーに進化し、今や一人1台のタブレットを使って映像や音声を簡単に記録できるようになりました。流行り廃れは世の常であり、教育も例外ではありません。モノが変われば、学び方が変わるのも当然です。ただ、時代がどのように変わろうとも目指す方向をきちりと理解することが大切です。きちりと理解するというのは、方向を指し示す矢印だけを見るのではなく、矢印の外側にある様々な問題にも光を当てて、「本当にためになるのか?」、「それで次代を担う大人を育てることにつながるのか?」といったことを明らかにすることが必要なのだろうと考えています。また、ときにはその矢が目指しているそのものの真偽も疑ってかかる必要があります。取り留めのないことを書いてしまいましたが、本校は蓋然性(がいぜん性)、できる限り1つひとつの教育活動がもたらす予測可能な結果を見極めながら歩んでいきたいと考えています。



## □■□ 5月18日学習参観について □■□

5月18日に学習参観を実施します。今のところ予定通り実施するつもりをしています。地区別により2校時または4校時となりますので、お間違えのないようにお願いします。また、3時間目にPTA委員総会が体育館で実施されます。ご参加いただく保護者の皆様は参観と併せて連続になりますが、よろしく願い申し上げます。なお、以下の点についてご留意いただきますようお願いいたします。

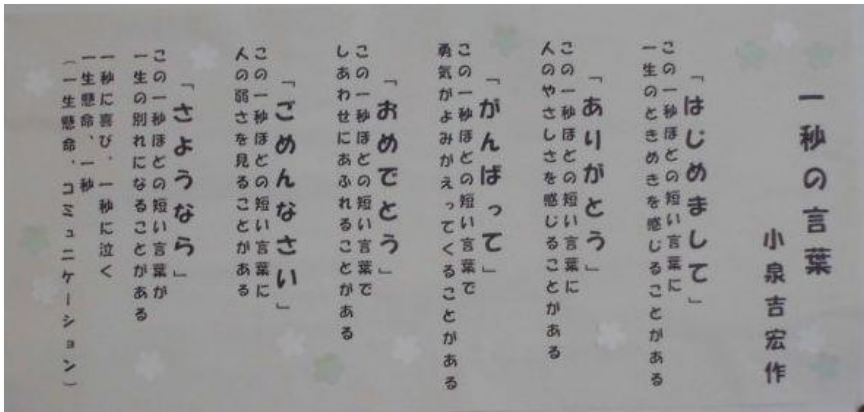
◆案内では間隔を開けて教室中でも可としていましたが、廊下からの参観に限定させていただきます。

- ・参観は各ご家庭お1人まででお願いします。
- ・体調管理票を記入の上ご持参いただき、各学級前の箱にお入れください。
- ・感染防止のため、廊下からの参観をお願いします。
- ・体調がすぐれない場合や発熱症状がある場合の参観はお断りします。
- ・感染対策のため、必ずマスクの着用をお願いします。
- ・やむを得ず車での来校の場合、運動場にお停めいただけますが、運動場内での事故等については、責任は負いかねます。
- ・感染状況により急遽中止にすることがあることをあらかじめご了承ください。

# 「1秒の言葉」 小泉吉宏

本校の保健室にある掲示板に小泉吉宏氏の「1秒の言葉」の詩が掲示してあります。小泉吉宏氏は漫画家であり、絵本作家です。「1秒の言葉」は、元々時計の会社のコマーシャルとして1984年にラジオで1回だけ流れたもので、翌年のテレビ番組「ゆく年、くる年」で2回目の放送がされました。彼が広告マン時代に書いた詩です。ご存じの方もおられるかと思います。

後に詩集として出版するとき、氏は「人は生きる。」の言葉が入って完成したと振り返っています。たった一言が、相手を幸せな気持ちにさせたり、元気をあげたりします。たった一言が、相手の心を傷つけたり、悲しませたりもします。




「語り尽くせない思いを短い言葉に託す。しかし、時間に追われる現代はその短い言葉さえも省略されがちだ。大切な言葉を、心を込めて伝えたい。ほんの一秒でできる挨拶や言葉がけが、人の心と心をつないでいく」という意味のことを、この詩を紹介してくださいました。その通りだと思いました。

た。真野小学校から、溢れんばかりのあいさつと優しい心のつまった「ふわふわ言葉」が、地域全体に広がっていくことを願っています。

## 随時更新しています！真野小学校Webページをご覧ください！

学校行事や学習活動の様子を随時紹介しています。是非ご覧ください。

真野小学校	検索 
-------	--

URL : <http://www.otsu.ed.jp/mano-e/>



PC版



スマホ・タブレット版